

(T-OPLL GWAS)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
分担研究報告書

脊柱靱帯骨化症の病因に関する研究

研究分担者 氏名 海渡 貴司 所属機関 大阪大学 役職 講師

研究要旨

脊柱靱帯骨化症は遺伝的素因に環境因子が加わって発症する多因子疾患と考えられているが、まだ治療に結びつくような病因は明らかになっていない。
脊柱靱帯骨化症の発症や進展に関与する遺伝子および環境因子が明らかになれば、病態解明や予防法につながると期待される。

A. 研究目的

日本人における脊柱靱帯骨化症の発生および重症度に関与する疾患感受性遺伝子および環境因子を明らかにすること。

B. 研究方法

患者個々の離床情報と遺伝子情報、血液生化学的検査結果を対応させる臨床研究であり、介入を行わない観察研究である。データの授受はすべて匿名化して行う。

2020 年度の当院の新規登録症例数 2 例。
(累積 25 例)

C. 研究結果

当院では解析を実施せず。

D. 考察

E. 結論

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1.論文発表

2.学会発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1.特許取得

2.実用新案登録

3.その他

邊 嘉之, 柴田 政彦, 吉川 秀樹. 安静時 functional MRI を用いた頸髄症患者におけ

る脳機能結合解析の厳密な多重比較補正を適用した再検討. 第93回日本整形外科学会学術総会. 2020/6/11～8/31. Web開催.

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他